

日本では年度末になりますが、いかがお過ごしでしょうか。いちごは3月から4月後半の春が旬の季節とされています。そのいちご生産ではケベック州が第一の生産者であり、カナダ全体の生産面積の半分以上を占めると聞きました。

●マルルーニー元カナダ首相の国葬

23日、岸田文雄内閣総理大臣の特使として、穂坂泰外務大臣政務官が、カナダ・モントリオールにて行われたブライアン・マルルーニー元カナダ首相の国葬に出席し、ジャスティン・トルドー首相、クリスティア・フリーランド副首相兼財務大臣及びメラニー・ジョリー外務大臣に対し、日本国政府及び国民を代表して弔意を伝達しました。また、マルルーニー元首相が在任中、第二次世界大戦の際に人権被害を被った日系カナダ人への補償を行うリドレスを実現し、日系人の名誉の回復に努めたことを踏まえ、穂坂総理特使は、今次カナダ訪問の機会を捉えて、日系人との意見交換を行いました。



●天皇誕生日レセプション

22日、着任後初めてとなる天皇誕生日レセプションを開催しました。カナダ連邦議会、ケベック州、モントリオール市要人をはじめ多くのお客さまにお集まりいただき、盛況のうちに終えることができました。ご参加いただいた方々や、ご協力いただいた企業・団体様に感謝申し上げます。今年は、カナダ人の方々に対して、日本とケベック、日本と大西洋州の様々な側面について紹介するよう努めました。





●日本語弁論大会

16日、ケベック州と大西洋州の日本語弁論大会が行われました。二つの大会が同日であったので、全てのスピーチを拝聴することはできませんでしたが、参加者が、自分の内面、スポーツの意義、詩的な内容、人生の教訓など、自分の言葉で話す姿勢に心を打たれました。中には、2-3ヶ月しか日本語の勉強をされていない方々もおられたそうで、速い習得ぶりや挑戦する意欲には感嘆します。今後も、日本語学習を楽しんでいてください！

なお、日本語学習者の方々におかれては、日本で生活するための日本語コミュニケーション力が身につく『いろどり』という教材が、英語は勿論、フランス語でもできましたので、ご活用ください。<https://www.mcjp.fr/fr/irodori>



●ケベック公式訪問

13日、ケベック州国際関係仏語圏省（MRIF）の招きで、ケベック公式訪問を行いました。現場では、ジャンノット副総督、ロワ州議会議長、ロベルジュ仏語大臣、ビロン国際関係・仏語圏大臣、そしてベランジェ保健・高齢者担当大臣にお会いし、直接に今後の日本とケベックの関係について率直な意見交換をすることができ、また、それらを通じてケベック州の政策課題や重要視していることがよくわかりました。日本とカナダ、日本とケベックは、G7のメンバーであり民主主義、人権尊重等の価値観を共有しているうえ、高齢化、労働力不足といった、同じような政策課題に直面しています。このことから、協力できる潜在的可能性は大きいと考えており、私としても、その可能性を最大限に活かし関係の強化に努めたいとの思いを新たにしました。また、伝統と革新を兼ね備えたケベック議会で、重要な予算審議の議論を傍聴席から挨拶させていただきました。セッション冒頭、ロワ議長、ルゴー首相、ビロン大臣をはじめ、皆さん満面の笑顔で着任を祝してくれました。MRIF や議会関係者の皆様に感謝いたします。



●ケベック日本友好協会主催の新年会

2月25日、ケベックシティにおいて、ケベック日本友好協会の新年会が開催されました。当館からは、総領事代理として、森本首席領事が出席し、挨拶を行いました。日本に滞在経験があり、日本語に堪能な MRIF の日本担当課長も参加されました。ケベックシティで日本とケベックの架け橋の役目を長年にわたり担っている同協会の恒例の年始行事には、地元の日本ファンの方が大勢お越し頂きました。スペースの関係上、一部、参加申し込みをお断りしなくてはならないほどだったそうです。会場では、日本の伝統文化である茶道、書道、墨絵のデモンストレーションやワークショップが行われ、どれも大人気でした。また、お昼には日本式のお弁当が供され、皆さん上手に箸を使って日本のお弁当に舌鼓を打っていました。日本とケベックの友好関係に御尽力頂いている同協会に心から感謝申し上げますと共に、今後ともこうした活動を応援していきたいと思います。



上記の他にも、日本やカナダの様々な方や団体の関係者と意見交換などを行うことができ、大変有意義な1か月でした。

* 本件レターは、仏・英語にても、メルマガ購読者に配信しています。